

「ワーケーション」について ～本県の取組～

令和2年10月23日
山梨県

ワーケーションの位置づけ～二拠点居住推進施策

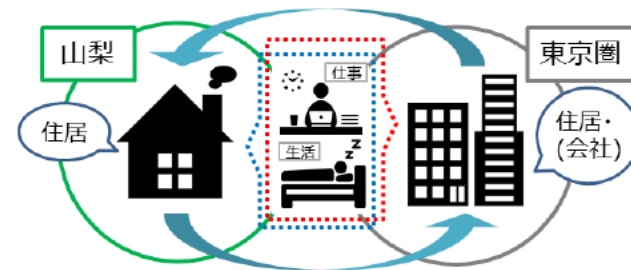
- 東京一極集中から地方分散の流れ、テレワークの普及等を踏まえ、二拠点居住を積極的に推進する方針。
- ワーケーションを二拠点居住に向けた段階的取組の一つととらえ、全庁的に推進するため、9月補正予算に関連予算を計上。

【二拠点居住推進施策 9月補正予算計：464,241千円】

■ ポータルサイト構築による情報発信
(◎やまなし未来創造ポータルサイト(仮称)構築事業費)

■ FMラジオ・移住専門誌による情報発信
(やまなし安全・安心移住生活プロモーション事業費) ※6月補正予算

● 二拠点居住のイメージ



STEP1 興味・関心



- ・地方にも拠点をもちたいけど、どこがいいところはないかなあ
- ・山梨ってどんなところ？
- ・行政からの支援は何かあるの？

■ ニーズの把握・現地視察ツアー・フォローアップ
(◎二拠点居住企業誘致推進事業費)

STEP2 訪問・滞在



- ・ワーケーションを活用して山梨で仕事をしてみよう
- ・お試しで二拠点居住・移住をしてみよう

■ 人材育成や体験プログラム造成・実施等によるワーケーションの普及促進
(◎ワーケーション導入支援事業費)

■ 宿泊施設等におけるワーケーション環境の整備促進
(◎ワーケーションモデル事業費補助金)

■ 空き家の掘り起こし・活用
(◎低利用空き家情報収集事業費)
(◎二拠点居住推進空き家活用事業費補助金)

関連予算

■ モデルケース（デュアルベースタウン）の打ち出し
(◎山梨県デュアルベースタウン推進事業費)

■ 課題・ニーズに機動的に対応できる予算を確保
(◎政策課題対応事業費)

STEP3 二拠点居住・移住



- ・山梨にも生活・仕事の拠点を確保したい
- ・サテライトオフィスを整備したい

■ オフィス・社宅等設置への新たな助成制度の創設
(産業集積促進助成金) ※制度拡充

■ 市町村のサテライトオフィス・コワーキングスペース整備支援
(◎二拠点居住拠点整備推進事業費補助金)

■ 事業用地としての県有地活用
(◎県有地を活用した新たな企業活動等の場創出事業費)

ワーケーション推進施策

- 9月補正予算により、ハード・ソフトの両面からワーケーション受入環境の整備を支援。

ワーケーション導入促進事業費（R2、9月補正予算）

～ 二拠点居住、移住・定住への第一歩としてのワーケーション環境整備 ～

ハード

宿泊施設、キャンプ場での環境整備 → モデル事業費補助金 150,000千円

主要観光地（石和温泉郷、下部温泉郷、清里、富士河口湖）、キャンプ場において、ワーケーション環境整備等を支援

補助対象事業：ワークスペース、Wi-Fi環境の整備等

補助対象事業者：観光協会、宿泊施設、キャンプ場等

首都圏に近接し、自然が豊か

ソフト

受入体制整備に向けた支援 → 導入支援事業費 23,232千円

モデル地域において、体制の整備、人材の育成、体験プログラムの造成、企業への情報発信などを総合的に実施

モデル地域での事業成果等を踏まえて、マニュアルを作成し、県内全域で活用

専門業者による支援

農業体験や自然体験など、本県独自のプログラムを造成

ウィズコロナ、ポストコロナ時代における新しい旅行スタイルの受入体制を整備し、ハード・ソフト両面において、本県の優位性を生かしたワーケーションを推進

二拠点居住 → 移住・定住

- 先進自治体とのネットワーク構築や、本県の取組についての効果的な情報発信を図るため、10月8日、ワーケーション自治体協議会に加入。

ワーケーション関連施策

【観光】

二次交通の連携・強化による観光MaaSの整備

やまなし観光MaaSの実現



【森林】

県内2箇所の森林セラピー基地（武田の杜・西沢渓谷）等における森林セラピーの推進

【農業】

新規就農のきっかけ作りのための農業体験プログラム